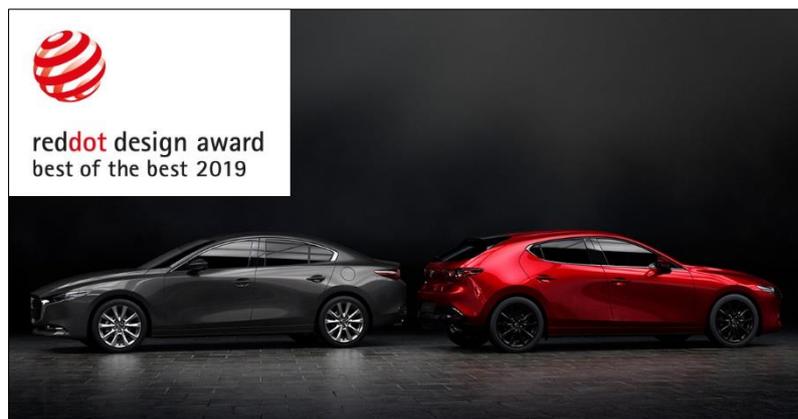




2019年4月8日

## 新型「MAZDA3」が 独「2019年レッド・ドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞

新型「MAZDA3」が、このたび、世界で最も権威のあるデザイン賞のひとつである「2019年レッド・ドット賞：プロダクトデザインにおけるベスト・オブ・ザ・ベスト賞(以下、ベスト・オブ・ザ・ベスト賞)」を受賞しました。「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」はレッド・ドット賞のプロダクトデザイン部門における最高の賞で、特に優れている工業製品に贈られるものです。



新型MAZDA3

新型MAZDA3は、日本の美意識の本質を体現することを目指す、深化した「魂動デザイン」を体現。ワンモーションのシンプルな動きでフォルムを描きつつ、繊細なボディ造形による光の移ろいやリフレクションの動きによって、これまで以上に力強く、より自然な生命感をつくり込みました。

マツダのデザイン・ブランドスタイルを担当する前田 育男(まえだ いくお)常務執行役員は受賞に際して、「新型MAZDA3は、日本の美意識の本質を体現することを目指す『魂動デザイン』第2ステージの幕開けを飾るモデルです。今回の受賞は、デザイナーだけでなく、設計や生産技術のエンジニアなど、このクルマのデザインに携わったすべてのメンバーの情熱と努力のたまものであり、全員でこの喜びを分かち合いたいと思います」と述べました。

レッド・ドット賞は、ドイツの「Design Zentrum Nordrhein Westfalen(ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター)」が主催する約60年の歴史を持つデザイン賞です。世界各国から応募された自動車に限らない

幅広いカテゴリーの工業製品から、デザインの革新性、機能性、人間工学などの9つの基準に基づき審査され、クオリティの高いデザインに贈られる「レッド・ドット賞」をはじめ、その中でも最高位の「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」の他、特別賞である「オーナラブル・メンション賞」などがあります。

MAZDA3は、2014年に3代目MAZDA3ハッチバックが「レッド・ドット賞」を受賞しており、2世代続けての受賞となります。

なお、マツダにおけるレッド・ドット賞の受賞歴は以下の通りです。

2013年	MAZDA6:	レッド・ドット賞
2014年	MAZDA3ハッチバック:	レッド・ドット賞
2015年	MAZDA MX-5:	ベスト・オブ・ザ・ベスト賞
	MAZDA CX-3:	レッド・ドット賞
	MAZDA2:	オーナラブル・メンション賞
2017年	MAZDA MX-5 RF:	ベスト・オブ・ザ・ベスト賞

以 上